



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Rotary 2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



岩国西ロータリークラブ
HPのQRコード



撮影 細田正躬



岩国西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT, ROTARY CLUB OF IWAKUNI WEST

2022年5月27日(金)第2507回例会

《 青少年奉仕月間 》

ロータリーソング 「我等の生業」
「四つのテスト」 唱和

第2回 情報集会報告

次週6月3日(金)のプログラム
ゲスト卓話 岡本雅子様
書道家

国際ロータリー第2710地区 岩国西ロータリークラブ

事務局 〒741-0062 岩国市岩国一丁目1-7 岩国国際観光ホテル内
TEL (0827) 43-1323 FAX (0827) 41-1335
E-mail ro@iwrc.jp
HP <http://iwakuni-west.com>

例会場 毎週金曜日 12:30~13:30
岩国国際観光ホテル TEL (0827) 43-1111
会長/兼田 康史 副会長/大田 謙二 幹事/茶藤 淳一
編集者 雑誌会報委員長/柳崎 茂

四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

※ 5/22(日)家族同伴野外例会に参加された皆様、お疲れ様でした。

お祝い

個人情報のため、掲載しておりません。



幹事報告

1) 6/3(金)の例会終了後に定例理事会を開催いたしますので、役員・理事の方はご出席をお願いします。

2) RI第2710地区事務局より4/28(木)に行われたロータリー奉仕デーinマツダスタジアムの御礼文が届きました。

奉仕活動に323名(参加登録数)が参加し、ポリオ根絶・ウクライナ募金活動で総額519,586円が集まりました。

3) ロータリー手帳が届きました。

6/3(金)例会時にお配り致します。注文をされた方はおつりがないように持って来てください。

【金額】 700円/1冊 (660円 + 送料 40円)

4) 6月度クラブスケジュール

【岩国西】 6月 3日(金) ゲスト卓話 岡本雅子様 書道家
6月10日(金) ゲスト卓話 西京銀行バドミントン部様
6月17日(金) クラブフォーラム
6月24日(金) ※例会変更 ⇒ 本年度最終夜間例会 18:30～

【岩国】 6月 2日(木) ゲスト卓話 藤田信雄様 中通り商店街 理事長
6月 9日(木) ゲスト卓話 杉村憲昭様 杉村法律事務所 弁護士
6月16日(木) ゲスト卓話 熊谷正信様 西福寺 住職
6月23日(木) ※例会変更 ⇒ 年度末最終夜間例会
6月30日(木) ※休会(定款適用)

【岩国中央】 6月 1日(水) ゲスト卓話 末岡恵様 安本建設(株)代表取締役社長ご息女
6月 8日(水) クラブフォーラム
6月15日(水) ゲスト卓話 仲間史彦様 酒井酒造杜氏
6月22日(水) ※例会変更 ⇒ 本年度最終夜間例会 19:00～
6月29日(水) ※休会(定款適用)

【大 竹】 6月 7日(火) 2021-22年度委員会活動報告
 6月14日(火) ※ 休会 (定款適用)
 6月21日(火) 2021-22年度委員会活動報告・新旧引継式
 6月28日(火) ※ 休会 (定款適用)

委員会報告

1) S. A. A

次週6/3(金)例会よりクールビズといたします。

2) ロータリー情報

週報末に第2回情報集会報告書を添付しておりますので、リーダーは後ほど発表をお願いいたします。

3) 出席

5月度出席状況 ビジター 0名 累計8,270名

	会員数	出席人数	当日出席率	メイクアップ	修正出席率
5/13	62名(免除2名)	56名	93.33%	-	-
5/22	62名(免除2名)	23名	38.33%	-	-

5/22(日) 家族同伴野外例会の思い出 in 三次





ロータリーを語るとき、常に米山梅吉さんの陰に隠れ忘れがちな方が日本人で初めてロータリークラブの会員になられた福島喜三次さんです。米山さんとともにわが国のロータリーを誕生させた功労者ですから、私たちはこの方の功績を忘れてはなりません。

喜三次さんは明治14年（1881）肥前有田で生まれ、長崎商業学校を経て東京高等商業学校（現一橋大学）を卒業し、三井物産に入社しておられます。実家は代々紺屋を業とし、幕末の地元の学者で商人の心得を説き、『家職要道』などを著した正司碩溪の影響を父親ともども強く受けたと伝えられています。碩溪の中心となる思想は経済の倫理化であり、商売の極意を『他利即自利』（他人にまず利益を与えることが延いては自分の利益につながる）と説いていますが、これはまさにロータリーの奉仕の精神『最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる』に通じています。喜三次さんはその生き方・考え方に傾倒し、経済倫理を重んじ『世のため、人のため』の人生を歩んだ方、と伝わっています。

陶器市で賑わう佐賀県有田市の生家跡には、向笠広次元RI会長揮毫による『日本人初のロータリアン 福島喜三次生誕地』と記された記念碑が建っています。わたしは同期ガバナーが主宰する長崎の地区大会に参加の途中、有田に立ち寄り敬意を表しました。

さて喜三次さんは、三井物産でニューヨークなどを経てテキサス州ダラスに勤務し、主として綿花の買い付けを行います。その取引高は各国商社間のトップであったといえます。ダラス在任中、日本人として初めてロータリークラブに迎えられました。シカゴにロータリーが誕生し10年のち、1915（大正4）のことです。三井物産営業所長の若干34歳、人種差別の強い米国南部、東洋人というハンディを抱えての入会は、やはり彼が誠実で信望の厚い職業人であったと推測しています。ロータリーの印象を妻に『男ばかりで非常に愉快。肩を組んで仲良く、人種差別もなく、大変気持ちがいい』と語っていたことが伝わっています。

1918（大正7）正月、米山さんは米国経済視察団の一員としてアメリカ旅行中ダラスを訪れますが、そのとき喜三次さんはダラスクラブの例会に招待されています。二人の邂逅（かいこう）が、わが国のロータリー誕生の起点となりました。1920（大正9）1月、喜三次さんは東京勤務となり、その年の10月20日、米山さんとともに東京RCを誕生させ、わが国のロータリー運動が始まりました。2年後の1922（大正11）年、彼は大阪勤務となり、そこでも再び特別代表として大阪RCを設立し、またも初代幹事としてクラブ運営を担っておられます。



生誕の地記念碑で

1923（大正12）9月1日、未曾有の大震災が首都圏を襲いました。『東京壊滅』のニュースが海外に伝わるや、間髪を入れず世界のロータリークラブから見舞い金や援助物資が届きます。その窓口は大阪RCの喜三次さんが務め、救援活動の総指揮を執りました。

3年後の1926（大正15）年8月、上海支店勤務となり、上海RCに入り激動する中国で命がけの奉仕活動を行っておられます。1932年（昭和7）10月に帰国後は、日本初のパストサービス会員として東京RCに迎られ、後に副会長を務められました。



日本人初のロータリアン
福島喜三次さん

わが国は無謀とも思える戦いをアメリカに挑み、ロータリーも消滅しました。焦土と化した国土の復興が始った1946年（昭和21）年9月17日、喜三次さん逝去、享年66歳でした。

1948（昭和23）年、東京RCがRIに復帰し、わが国のロータリーは驚異的に拡大発展していくのですが、それを見届けることは叶いませんでした。喜三次さんの胸中は察するに余りあります。

わが国で初めてのロータリアン、そしてわが国のロータリー創設の功労者、誠実な人柄で、無口だが厳格、終生『他利即自利』を実践し、どこでも誰からも愛され信望を集め尊敬された方です。改めて福島喜三次さんに満腔の敬意を表したいと存じます。【西村榮時】